



傳設計ニュースター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～新型コロナウイルス感染～
- ◆こどものための空間づくり
- ◆小さな船のドック
- ◆耐震診断の調査とは
- ◆敷くだけの免震システム
(ミュースレーター)の紹介
～A.U建築様～
- ◆オンライン会社説明会
- ◆舞鶴探訪(5)
- ◆社員名鑑



今、伝えたいこと ～新型コロナウイルス感染～

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方、ご家族・関係者の皆様にご見舞い申し上げます。また、医療機関や行政機関の方々など、感染拡大防止に日々ご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが、こんなに感染拡大されるとは予想だにしておりませんでした。弊社では感染対策として、交代制出勤、時差出勤、テレワーク等を行いました。テレワークの手段としてリモートアクセスを導入しましたが、いざ、ソフトを購入しようとしても申し込みが殺到しており、手続きに時間がかかりスムーズにいきませんでした。同様に、お客様との打ち合わせも、対面を避けるためWeb会議を導入したのですが、Webカメラ・マイクを注文しようとしても品薄で納品までに時間がかかるため、限られた台数のノートパソコンで対応する等、後手後手になってしまいました。やはり、皆さん考えることは同じですね。従前に備えることがいかに大事かと痛感しました。

しかしながら、感染対策を通して、働き方や業務環境の改善を改めて考え直す良い機会になりました。特にテレワークは、通勤や移動時間の削減により拘束時間を短縮できます。育児や介護中の方にとっては、時間を有効に活用できるため、育児や介護の負担を減少できます。今後も多様な働き方を取り入れていくことは大事ですね。

また、BCP(Business Continuity Plan・事業継続計画)も改めて見直す必要があることに気づかされました。今回の様な感染症蔓延時用のBCPは、地震等の自然災害用のBCPと策定方法が異なります。感染症蔓延時の被害は、長期に渡り徐々に拡大していきます。事業への影響も予測しながら、運転資金確保も重要になります。今回の新型コロナウイルスでも、行政や金融機関から多くの支援制度が提供されていました。これらを利用することも含め検討すべきだと考えています。

緊急事態宣言は解除されましたが、第2波がいつくるか分かりません(この記事は5月下旬に作成してます)。まだまだ油断できない状況です。一人ひとり、一社一社の意識と行動が大事です。引き続き、手洗い・消毒の徹底、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、感染拡大されない様努めてまいります。(代表取締役 岩本 茂美)



★会議もソーシャルディスタンスを意識しています★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中、外での飲み会も自粛。でも、流行り(?)のオンライン飲み会をやりました。直接会って、話をできないのは寂しいですが、盛り上がりました！気の合う仲間達、いつもと同じで話は尽きませんね。



★こどものための空間づくり★

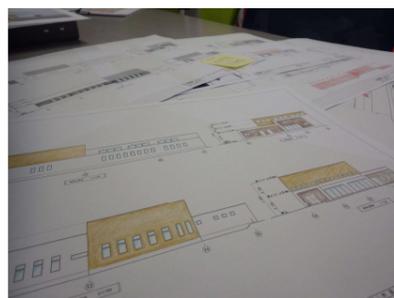
皆様はこどもの頃、どんな幼稚園、保育園に通っていましたか。

私が通っていたのは、赤いレンガ調の外壁に、広い中庭があり、すぐ隣を電車が通り抜ける幼稚園でした。当時の記憶はあまりありませんが、建物やそこで行ったイベントなどの断片的な記憶は残っています。古い友人との会話や、通っていた幼稚園の近くを通ると思い出し、とても懐かしい気分になります。

私は今、保育所の設計を行っています。こども達が使う施設の設計において、環境は特に重要だと考えています。こども達は温度、匂い、光、色など、環境の変化、違和感に対し、大人よりずっと敏感に反応します。こども達が安心して過ごせる環境をつくるには、安定した環境が必要不可欠です。そのため、環境を柔軟に制御できるよう、サッシ、照明、空調機器、床暖房などを適切に

設計することが大切だと考えています。

それと同時に、こども達の記憶に残る空間をつくることも重要です。安定した環境を意識しつつ、その中で建物のアクセントとなり、彼らの好奇心をくすぐるような空間もつくることで、彼らの記憶の片隅に残り、こども達が大人になった時にふと思い出して、懐かしいと思える空間になると良いな...と考えながら設計を進めて



★立面デザインの検討★

います。皆様に竣工のご報告ができる日を楽しみにしています。(山川)



★BIMモデルによる検討★

傳設計 設計業務

船の設計をしたいなあと思っていた高校2年のある朝の新聞、「造船業界大不況！」と大見出し。私は今、建築の設計を仕事としている。

あれから数十年、どんな縁だろうか？ 青い海、白い雲...2019年7月、「小さな船のドック」の設計がスタートした。

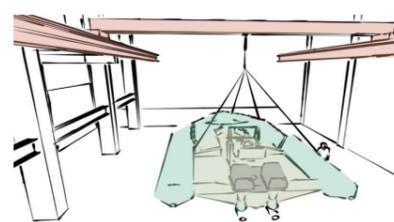
この建築物は、船の整備場で、船を移動させるため天井にクレーンが必要である。幅10m×奥行き35m×高さ10mの広い空間を確保するために、柱や、梁は設けられない。そ

のため船をクレーンで吊り上げ移動させることができるように設計する必要がある。3階部分には、事務スペースがあり、クレーンの移動による建物の振動や揺れの対策も必要だった。社内の構造設計部と検討を重ねこの問題はクリアできた。

建築場所は海のそばであるが、この建築物は鉄骨造。塩害(塩分の影響で錆や腐食がおこる)を防ぐため、鉄骨に亜鉛メッキを施し、外壁には、マグネシウムが入ったガルバリウム合板という新しい材料も使

用した。更に、強い風から屋上の設備を防ぐため防風壁で囲んだ。また、この地域の高さ制限をクリアするために、条例を目を皿のようにして読み込み、解決の糸口を見つけた。

どんな設計も内側の難問と外側の難問が付きまとう。難産であればあるほど、生まれる時の喜びは大きい。2021年「小さな船のドック」はこの世に生まれ出る。(陣内)



★クレーンで吊ったイメージ図★



★小さな船のドック★

★耐震診断の調査とは★

耐震診断を行うためには現地での状況確認が必要です。耐震診断における調査とはどのようなものなのかご存じでない方もいらっしゃるかと思いますので、簡潔にですが紹介させていただきます。



★図面照合★

調査は主に「図面照合」と「劣化調査」、さらに鉄筋コンクリート造の場合は「材料調査」も行います。図面照合は、お預かりした既存図面から変更されている箇所があるかを確認する作業です。既存の図面がない場合は柱や壁の大きさ等を必要に応じ丁寧に調べて、図面を1から作成しなければならないので、時間と費用が大幅に増えてしまいます。



★劣化調査★

劣化調査では、壁や柱のひび割れや建具などのさび等、建物の劣化状況を目視で確認します。

材料調査では、コンクリート強度や劣化の進行具合を調べるために、コンクリートを壁などから採取します。コンクリートを採取するときに騒音や振動が発生しますので、建物の利用者や周辺の方のご協力が不可欠になります。



★材料調査★

前述の調査で耐震性能上問題ないという結果が出た場合でも、小さなひび割れがあればそこから劣化が進んでしまう可能性があります。耐震診断調査は建物の手入れの状態を確認するきっかけにもなります。(城戸)

NEW&HOT TOPIX

今回は、アイディールブレン株式会社のミュースレーターという免震システムを取り扱ってられるA.U建築様にお話を伺いました。

「ミュースレーターはシンプルな免震装置です。必要な部分だけを免震にすることができるため、設置場所、コスト、工期といったさまざまな制約条件をクリアします。

『普段は動かず、大地震時(震度5弱以上)の時だけ免震効果を発揮す

る』という、一見相反するユーザー要望をミュースレーターが実現しました。大規模な工事をせずに、セルシートを敷き、その上に滑走プレートを置く、という簡単な工事となり、価格も、大規模な工事に比べると安くなるはず。病院や事務所などのさまざまな施設で、地震の時に設置している物が倒れないようにすることができます。既存の建物の中の重要な物の地震対策には有効です。

阪神淡路大震災、東日本大震

災、熊本地震、大阪府北部地震においても被害は発生していません。サーバーラック、医療機器、美術品、大型の物品棚、自動倉庫や生産機械などの地震対策に幅広く対応できます。」

地震が多い我が国にとっては、地震対策は不可欠なものです。簡単な工事で人々の安全や大切なものを守ることができるこの免震システムは、今後ますます需要が広がっていくと思います。(田中)



★透析装置★



★製品セット★



★薬品保管棚★

★敷くだけの免震システム(ミュースレーター)の紹介～A.U建築様～★

★オンライン会社説明会★

人事担当の岩本です。この度、新型コロナウイルスの影響で会社説明会、面接を延期いたしました。予定が立たない中でも弊社に興味を持っていただいた学生さんには、感謝しかありません。

そのような状況の中で、弊社では、緊急事態宣言解除後の5月22日に初めてオンライン会社説明会を実施いたしました。



★オンライン会社説明会の様子★

オンライン会社説明会は無事に終わることができましたが、相手の反応を見ながら、そして考えながら話をするのはとても難しかったです。座談会は、社員が上手く進めていたので終始和やかな雰囲気でした。オンラインでの会社説明会実施の問い合わせもあり、新型コロナウイルスの影響で始まった採用活動の多様化ですが、今後はオンライン説明会と社内説明会を併せて実施する必要性を感じました。

来春卒業の学生の方は、いろいろと不安を抱え、就職活動もままならない状況で頑張っているんじゃないかと思います。弊社は、今年度も新卒採用に力を入れています。弊社のように若い力を必要としている会社もたくさんあります。お互い頑張っていきましょう。(岩本)

社員名鑑 vol.35



氏名: 服部未来
 社歴: 3年
 所属: 総務部
 主な業務: 入札
 趣味: DIY

家具や雑貨が好きで、気に入ったものが無い時やサイズが合わない時は自分で作ることもあります。ただ、大雑把な性格なので、寸法が微妙に違うことも…。目標はカフェの様な部屋にすることなのですが、ゴールは遠いです。

入札の仕事を中心にやってます。以前は設計会社とは無縁の仕事をしてきたため、当初は言葉の意味すらわからず、その都度先輩社員に質問、または自分で調べるなど四苦八苦しながら行っていました。今年入社して4年目ですが、ようやく慣れてきた感じです。

現在は期間限定ではありますが、ニュースレターの編集、発行業務も行ってます。多くの業務を経験させていただき、大変な面もありますが、一つ一つ丁寧に取り組み、皆様のお役に立てるような働きをしていきたいと思っています。

★舞鶴探訪 (5) ★

今回は、弊社ビルの1階にあります、「なごみ食堂」さんをご紹介します。いつも弊社の社員に社食を提供していただいております。今回はお店おすすめ「焼肉&から揚げ弁当」と新商品「レモンステーキ定食」をいただきました。



★焼肉&唐揚げ弁当★

焼肉&から揚げ弁当は焼肉の味付けが甘辛く、ごはんがどんどん進みます。また、唐揚げもかなりボリュームで大満足です。レモンステーキ定食は佐世保名物! 柔らかいお肉とレモンのさっぱり風味が相性抜群でとてもおいしかったです。見た目も、大きなレモンが目を引く美しい一品でした。



★レモンステーキ定食★

コロナ禍により4-5月はお弁当のみの販売でしたが、6月からは平常通り営業再開しておりますので舞鶴にいらした際はぜひ。(真弓・平野)

＜お店情報＞

なごみ食堂: 福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル1階
 050-5597-8236

編集後記///今年の春は新型コロナウイルスの影響で外出自粛となってしまう、友人にもなかなか会えず、寂しい春となりました…。この状況下でニュースレターが発行できるか不安でしたが、無事に予定通り発行することができ、一安心しております。今年の夏こそ、旅行にでもいけるといいな…。アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。 (服部)



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計
 DEN ARCH. & ENG. OFFICE

ADD: 〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL: 092-737-1500 (代表)

FAX: 092-737-1501

